## はじめに「働き方改革関連法」の概要

「働き方改革関連法」は、労働基準法など複数の法律を一括して改正する近年最大の労 働関係法の改正といえます。各法律の主な改正項目と項目ごとの施行日を整理すると、 下表のようになります。

## 【「働き方改革関連法」の主な改正項目と施行日の一覧】

主な改正項目		本冊子での該当ページ	施行日	
			大企業	中小企業 (中小企業基本法の定義)
労働基準法	時間外労働の上限規制	24ページ	平成 31 年	令和2年 4月1日
	年5日の年次有給休暇の確実な取得	28ページ	4月1日	
	月60時間超の時間外労働についての割増率引上げ	26ページ	平成 22 年 4月 1 日	令和5年 4月1日
	フレックスタイム制の拡充		平成 31 年 4月 1日	
	高度プロフェッショナル制度の新設			
労働時間等 設定改善法	勤務間インターバル制度			
労働安全	長時間労働者に対する面接指導等	31 ページ		
	産業医の活動環境の整備			
	健康相談の体制整備、 健康情報の適切な取扱い			
パートタイム・ 有期雇用労働法	均衡·均等待遇(同一労働同一賃金)	8ページ	令和2年 4月1日	令和2年4月1日 (パートタイム・有期 雇用労働法については、 令和3年4月1日)
労働契約法 労働者派遣法	待遇に関する説明義務の強化	12ページ		

## ※中小企業の範囲

① 資本金の額または出資の総額が

小 売 業 5,000 万円以下 サービス業 5,000 万円以下 または サービス業 100 人以下 卸 売 業 1 億円以下 上記以外 3億円以下

② 常時使用する労働者数が

小 売 業 50人以下 卸 売 業 100人以下 上記以外 300人以下